

★CASE 3★

## 松江市立恵曇保育所(松江市)

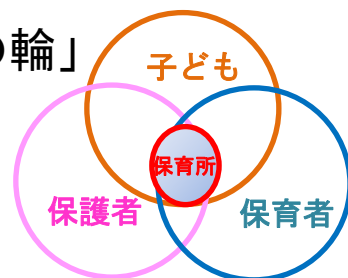
### 【保育所DATA】

- 所在地: 松江市鹿島町武代181
- 法人名: 社会福祉法人松江福祉会
- 定員 : 100名  
※平成28年7月20日時点で  
在籍数74名
- 職員構成(保育士)
  - ・正規職員6名
  - ・臨時職員8名
  - ・パート職員9名
- 法人内他施設
  - ・法吉保育所・本庄保育所・松江市立野波保育所・松江市立マリン保育所・ふじのみ園・東津田児童館・魚瀬世代間交流会館



○所長 榎 佳子(ゆずりは けいこ)先生が大切にしていること

### 「子どもと保育者と保護者の輪」



#### ☆榎 佳子先生の略歴☆

- ・保育士として「法吉保育所」に入職。以後40年以上保育現場に携わる。
- ・同一法人内の「本庄保育所」「法吉保育所」の所長を歴任。  
平成27年4月より「恵曇保育所」所長に就任。現在に至る。

### 保育士がいきいきと働く環境を整備するために

#### ○職員のやりたい事を後押ししていく

一人一人の保育士が、のびのびと活動する環境を整えることを大事にしています。クラス運営をしていく上での事や、新しくチャレンジしてみたい事など、保育士がやりたい事を見守り、後押ししていく事を心がけています。

#### ○保護者とのコミュニケーションを大事にする

毎日の送迎時に笑顔で声かけをしています。特におじいちゃんおばあちゃんが送迎の時には、気をつけて声をかけるようにしています。子どもの話に限らず地域のことを話してくれるようになり、法人内の転勤で赴任した職員が、地域を知る良い機会となっています。

少しの時間でも話をする事で、保護者自身の心がほぐれていき、また、変化にいち早く気づく事ができます。保護者が心身共に元気であることが確認できるように努めています。その事が家庭での子どもの健やかな成長の助けになると考えています。

保育士が一人ひとりの子どもと楽しく、どう育てていくかを大切に、職員とのコミュニケーション・相談を心がけています。

職員からは「一人ひとりを気に掛けてくれていて、保育士自身を高めてくれる言葉をかけてくれる」「親身になって話を聞いてくれる」「(保育の事もプライベートのことも)榎所長がいると安心できる」という声を聞きました。



## 惠曇保育所での取り組み紹介①「仕事と子育ての両立」

「家庭を大事にしないと、保育所の子どもを大事にできない」

保育所は子どもの命を預かり、人生の基礎を築いていく大切な場所です。子ども達ときちんと向き合うためには、自分の子どもとも向き合い、時間を共有する事が必要です。また、家族との時間を大切にしてもらい、穏やかな気持ちで保育を行っていただけるようにしたいです。子どもの学校行事や、体調不良での保育所からの連絡があると、優先して行けるようにしています。互いに協力して保育に取り組むことで職員間の思いも深まっています。

## 惠曇保育所での取り組み紹介②「園内研修の実施」

☆手作りおもちゃの作り方を習う。

年齢の低い子どもに限らず年長クラスの子も達にも、手作りのおもちゃは人気があります。簡単なようでいざ作ろうと思うと意外と難しいものです。専門の方から教えていただき、みんなで楽しく作っています。子ども達の前に手作りおもちゃを出すと表情がキラキラになり、あそびに夢中になります。その姿を見ているとまた新しいアイデアが浮かび、職員同士で話し合いながら作っています。

☆鹿島町の中にある惠曇地区を知ってあそびの中に取り入れる研修を行っています。

事前に子どもたちが楽しんで遊べる場所に行き、安全を確かめ情報交換を常にしています。この研修は、数年前から保育の研修の一つとして進められていて、昨年は松江市保育研究大会で公開保育をし、研究の成果を見て頂きました。これからも、もっと深め、広げていきたい研修です。

子どもと一緒にいる事を  
楽しむ余裕ができたように  
思います。(所長先生より)

## ☆職員の声☆



友田 直子先生

- ・保育士歴は20年目。  
(惠曇保育所は5年目)
- ・5歳児を担当。
- ・中学1年生と、小学2年生  
の子どもがいます。

振替休日や有給を上手く利用して、自分の子どもの学校行事に参加しています。周りの先生の配慮もあり、休みに関しては自分の希望がかなう事が多いです。子どもの行事に参加しやすく、良い体制をとっていただいています。

惠曇は、海・山に囲まれ自然豊かな場所です。子ども達と季節を感じながら、地域へ積極的に出かけ自然の中で遊びを楽しんでいます。法人内での職員の異動があるので、惠曇の良さを異動してきた職員に引き継いでいく事も大切だと感じています。



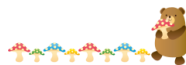
飯塚 陽(あきら)先生

- ・保育士歴は11年目。  
(惠曇保育所は1年目)
- ・3・4歳児を担当。
- ・6歳と4歳の子どもがいます。

大学では経済学部でしたが、卒業後保育士になろうと思い、保育所でボランティアをしながら、資格試験を受け、保育士になりました。

『子どもたちのあそびの様子を少しでも保護者さんに伝えられたら』と思い、クラス便りや今日の出来事のお知らせなどには、絵を入れて書いています。保護者さんから、それをきっかけに話が弾んだり、ほめて頂いたりした事が励みになり、続けられています。男性職員が2名いますが、男性だからというストレスはなく、どの先生にも自然に受け入れてもらっています。

## ♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～



飯塚先生の描いた  
今日の出来事

今日は大きな紙にみんなが  
おえかきをしたり、絵の具をぬりたくたり  
しました。



今日は所庭で遊びました。  
所庭での遊びは発見いっぱい!



今日は年中・年少と一緒にボールに  
入りました。

